

ラグビー場の整備に関する基本的な考え方

- ・ 東京都が「神宮外苑地区地区整備計画」（2011年11月策定）や「東京2020大会後の神宮外苑地区のまちづくり指針」（2018年11月策定）で掲げている、世界に誇れるスポーツクラスターの形成の実現に地権者の一人として協力すること。また、同指針に基づき、競技の継続に配慮した連鎖的な建替えを前提に、整備計画を策定する。
- ・ ラグビー場の歴史的背景を踏まえ、「秩父宮」の名称はそのまま引き継ぐこととする。また、「ラグビーの聖地」としてのレガシーを次世代に引き継ぐため、ラグビー専用スタジアムとして整備するものとする。その際、ラグビー競技を統括している（公財）日本ラグビーフットボール協会など施設利用者のニーズを十分踏まえながら整備計画を策定する。
- ・ スポーツ庁が示している『スタジアム・アリーナ改革指針』（平成28年11月）を踏まえ、ラグビー専用スタジアムとしての役割を維持しつつ、他の用途でも利用が可能な施設として、将来のランニングコスト等を賄えるような収益性に留意した整備計画を策定する。